|  |  |
| --- | --- |
| 学校番号 | １０９ |

平成29年度　芸術科

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | 芸術 | 科目 | 美術Ⅰ | 単位数 | 2単位 | 年次 | 1年次 |
| 使用教科書 | 「高校生の美術１」　（日本文教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

|  |
| --- |
| ○感じ取ったことや考えたことを基に創ろうとする作品の主題を生成し表現する「絵画」と、目的・機能・美しさなどを考えて創ろうとする作品の主題を生成し表現する「デザイン」と、お互いの作品を批評し合う活動も含めた「鑑賞」の分野について学習します。  ○表現材料の材質を生かした使い方や制作手順、色彩の配色、表現方法の工夫など創造的な表現を深めて行きます。一人ひとりの違った感じ方や見方を認識し合いましょう。日本の美術の歴史や表現の特質を美術作品に触れて認識しましょう。 |

２　学習の到達目標

|  |
| --- |
| 美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。 |

３　学習評価(評価規準と評価方法)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:技能 | d:知識・理解 |
| 観点の趣旨 | 美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 | 感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 | 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。 | 美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 |
| 評価方法 | 制作の様子  ワークシート  鑑賞活動やグループ  ワークの様子 | ワークシート  アイデアスケッチ  制作途中の作品  作品 | 制作途中の作品  作品 | ワークシート  発言内容 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。  学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

４　学習の活動

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学 期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 |
| a | b | c | d |
| １学期 | 「美術Ⅰ」の学習について | [鑑賞]  ・オリエンテーション  教科書の作品を鑑賞し、様々な価値観や世界観を通して美術文化を知る。授業を受ける時の注意。準備する物品の説明。 | ◎ |  |  | ○ | a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。  d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。 | 学習活動の様子 |
| 「私のパラダイス」のイメージ表現 | [デザイン]  ・課題テーマを踏まえて自分が創ろうとする作品の主題をアイデアスケッチ（エスキース）を通して探り見出し自覚する。  ・色彩の基礎を教科書等を通して知り、色をデザインする配色を工夫し色彩を構成する。 | ◎  ◎ | ◎  ◎ | ○  ◎ |  | a:課題テーマ「私のパラダイス」のイメージを表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現しようとしている。  b:条件や美しさなどから、形や色などの働きを考えて創造的な表現の構想を練っている。  C:アクリル絵の具の材質を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 | ワークシート  アイデアスケッチ  制作の様子  制作途中の作品  作品 |
| 夏期課題「ポスター」 | [デザイン]  ・様々なポスターコンクールに参加し、作品を校外に発表する経験を味わう。  ・１学期の復讐を目的とし次学期に向けての取り組みを向上する | ◎  ◎ | ◎ | ◎ |  | a:ポスターを創ることに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、創造的な表現をしようとしている。  b:文字と絵柄との構成を考えて表現の構想を練っている。  c: アクリル絵の具などの材質を生かし、表現方法を工夫して、各コンクールの条件を基に創造的な表現をしている。 | アイデアスケッチ  作品 |
| ２学期 | 「記憶に残った風景」をテーマとする絵画表現 | [絵画・彫刻][鑑賞]  ・自己の内面や取り巻く状況などからスケッチデッサン（エスキース）を通して創ろうとする作品の主題を生成する。  ・主題を基に構想を練る。  ・構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。  ・主題を追及し表現を深める。  ・作品発表と相互鑑賞と鑑賞文の発表 | ◎  ◎  ◎  ◎  ◎ | ◎  ○  ○  ◎ | ◎  ◎ | ◎ | a:テーマを基に自己の内面を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとする。  b:テーマを基に感性や想像力を働かせて、自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式を生かして、形体、色彩、構図などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。  c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。  d:他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫、などを感じ取り、一人ひとりの作品の違いを認識し理解しようとする。 | ワークシート  アイデアスケッチ  制作の様子  制作途中の作品  鑑賞活動の様子や発言内容  鑑賞ワークシート  作品 |
| 日本の美術を知る | [鑑賞]  ・日本の歴史を遡り、過去から今日までの日本の美術を調べ、その中で自分が最もよさや美しさを感じ取る作品を選び、表現の特徴や工夫についてまとめる。  ・作品について調べる。 | ◎  ◎ |  |  | ◎  ◎ | a:日本の伝統的な美術の表現の特質に関心を持ち、日本および諸外国の美術文化について理解を深めている。  d:日本の伝統的な美術の特質や様式、主題や表現方法などを知り、日本及び諸外国の美術文化について理解を深めている。 | ワークシート  鑑賞活動の様子 |
| ３学期 | 「自分の顔」のデッサン | [絵画・彫刻][デザイン]  ・よく見てよく感じてよく知ってよく考えてよく手を動かすデッサンが美術の基礎であることを認識する。  ・自分の顔の特徴や表情を表現しようと工夫する。  ・形体や明暗をとらえて立体感を表現する。 | ◎  ◎  ◎ | ○  ◎  ◎ | ○  ○  ◎ |  | a:基礎であるデッサンに真面目に意欲を持って取り組もうとしている。  b:対象を見つめて、形体の特徴や表情をつかみ、表現の工夫をしている。  c:表現材料の鉛筆の特性を生かし表現方法を工夫している。 | 制作の様子  制作途中の作品  作品 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　　b:思考・判断・表現

c:技能　　　　　　　　　d:知識・理解

　※　年間指導計画（例）作成上の留意点

　　・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。